

特定外来生物 クビアカツヤカミキリ 警戒中

～発見時には情報提供をお願いします～

●クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモなどの樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまう特定外来生物※です。

●山梨県では令和8年7月に発見されています。

被害を広げないためには早期に発見、駆除することが重要です。

※特定外来生物：海外から入ってきた生物であって、生態系、人の生命・身体・農林水産業に係る被害を及ぼす者、または及ぼすおそれのあるものとして外来生物法で指定された生物



発見したらの南部町役場又は
産業振興課直通までご連絡をお願いします。

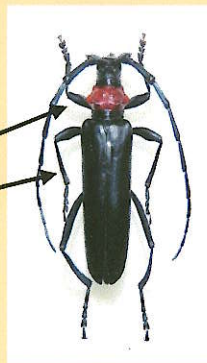
成虫の概要

体長 2.5cm～4cm

胸部が赤い一対のトゲ状隆起

青みがかった光沢のある黒

成虫は5月～8月に発生



被害木の例



図1

成虫は幹に細長い穴をあけて出てくる（図1）



図2

幼虫に食い荒らされた木（図2）

特徴（フラス）

フラスとは、幼虫のふんと木くずが混ざったものです



図1



図2

- 量が多く地表に降り積もるように大量にたまることもある（図1）
- 夏から秋にみられる
- 2～5mmほどの太さ
- 明るいオレンジから褐色

画像提供：埼玉県環境科学国際センター

南部町役場代表番号

0556-66-2111

産業振興課農政直通番号

0556-64-8076